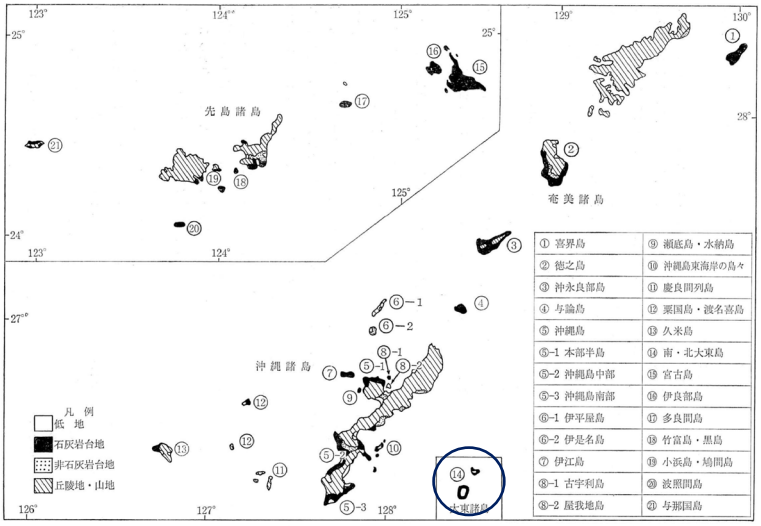
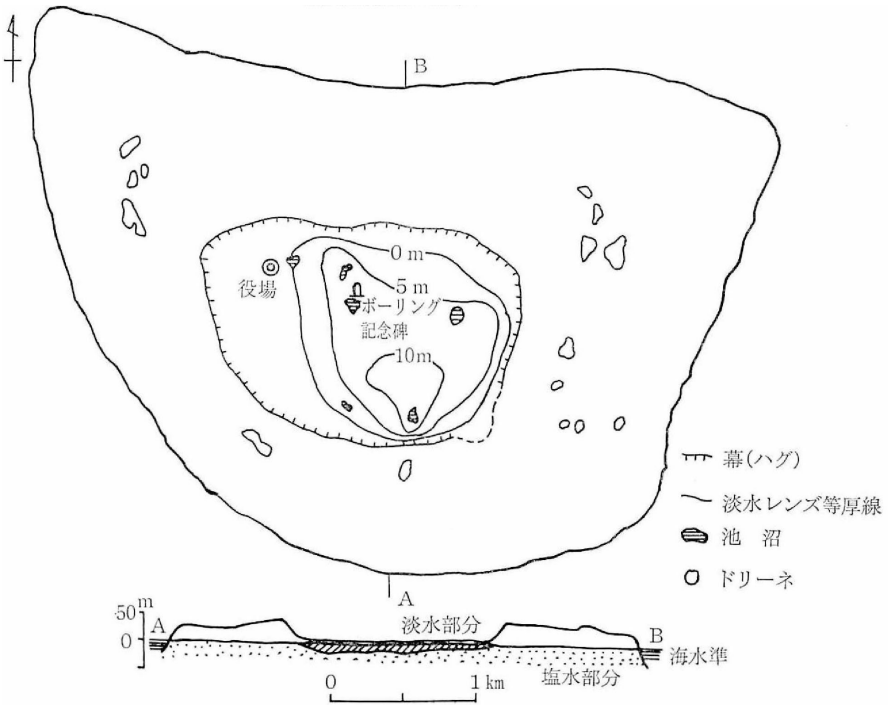
14.南・北大東島



地形・地質

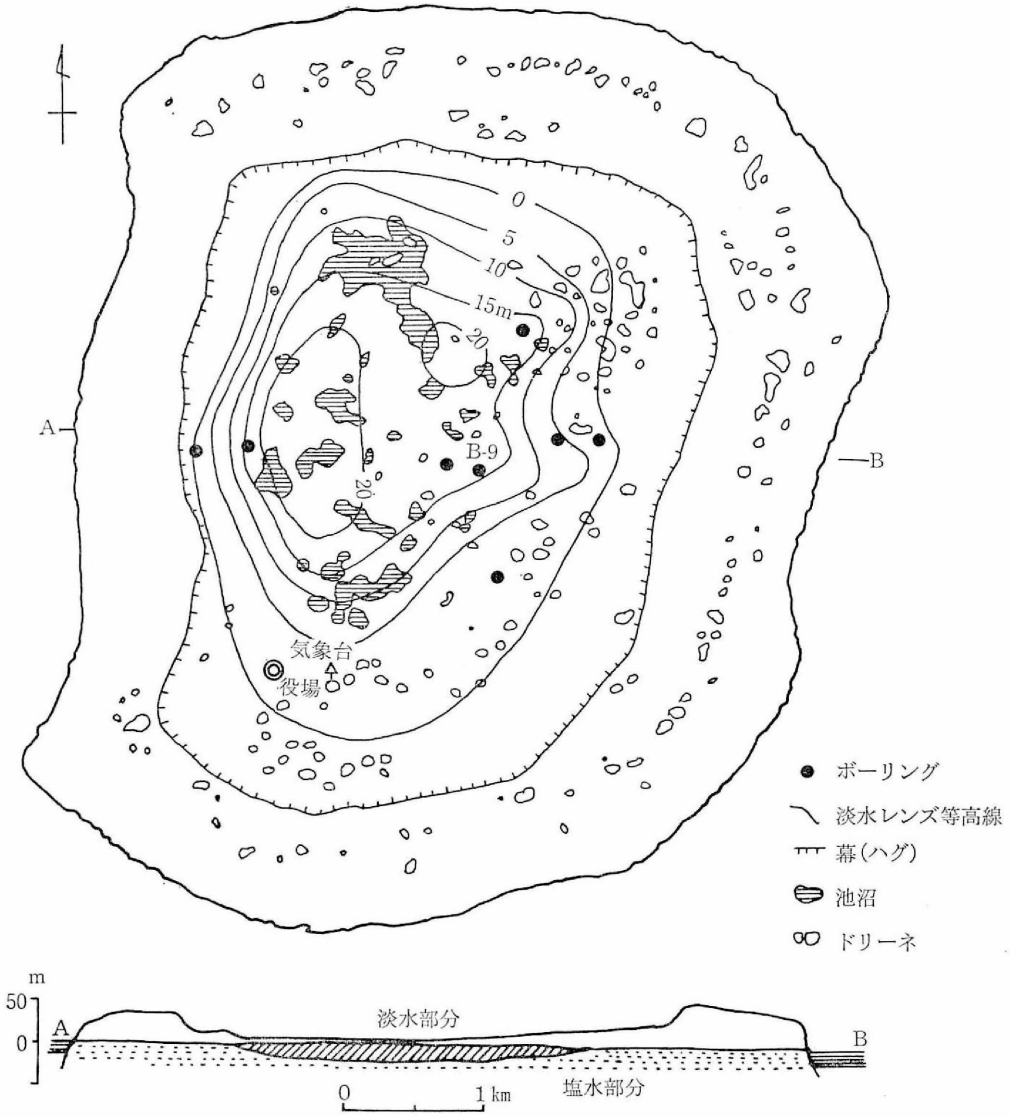
南大東島と北大東島は，沖縄島の東方 370km に位置します。両島は大東海嶺上に位置する隆起環礁の島で，地形は島をとりまく海岸部の台地(幕上)と内陸部の低地(幕下)に分かれています。地質は大東石灰岩と呼ばれるさんご礁石灰岩と，幕下の低湿地に分布する現世の泥炭層よりなります。



北大東島の水文地質図

地下水

淡水レンズの厚さは南・北大東島とも最大 20m 程度で，直径は南大東島で最大 4km，北大東島で 1.5km，いずれも幕の内側に存在します。両島は井戸による地下水の大量取水は困難ですが，複数の池沼があり水質的にもすぐれたものもあります。



南大東島の水文地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）